

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

水産関係団体の総会終了

平成18年度の水産関係団体通常総会は、5月30日基金協会、(社)水産振興協会に始まり、6月1日無線組合、19日共済組合、20日漁船保険組合(総代会)23日JF共済推進本部、27日漁連、信漁連で終了した。

1) 漁連通常総会

平成18年度本会通常総会が、6月27日に漁連会館において開催された。

服部会長の開会挨拶に続き、真鍋知事が来賓挨拶を述べ、議長に小田漁協松岡組合長を選任し、上程された議案はすべて承認された。

また、今夏の県知事選挙において真鍋知事推薦に関する特別決議を採択した。



漁連通常総会の様子

2) 信漁連通常総会

香川県信漁連の通常総会は、6月27日に開催され提出された議案は全て承認可決された。

3) (社)水産振興協会

平成18年度第1回通常総会が5月30日に漁連会館において開催され、議案審議に先立ち、役員永年勤続者、精励漁業者等の水産功労者30名の表彰が執り行われた。(各部門別の功労者は以下のとおり)その後、全議案満場一致で可決承認された。また、第37回放魚祭を三豊市詫間町において開催する計画となっている。

水産功労者表彰名簿

表彰の種類	所属漁協名	氏名
役員永年勤続	東 讃 漁 協	大 路 秋 義
"	志 度 漁 協	河 内 一 夫
"	庵 治 漁 協	山 本 富 士 夫
"	高松市東部漁協	納 田 浩
"	四 海 漁 協	木 下 貴 博
"	四 海 漁 協	松 浦 永 造
"	仁 尾 町 漁 協	宮 本 栄 治
"	観 音 寺 漁 協	勝 田 明
精励漁業	引 田 漁 協	安 富 房 一
"	引 田 漁 協	白 山 時 次
"	東 讃 漁 協	田 中 進
"	鴨 庄 漁 協	野 崎 光 幸
"	庵 治 漁 協	島 野 勝 司
"	高松市瀬戸内漁協	網 谷 茂 夫
"	高松市瀬戸内漁協	大 浜 春 雄
"	高松市瀬戸内漁協	新 田 孝
"	丸 亀 市 漁 協	九 郎 座 寿
"	西 詫 間 漁 協	菅 恒 清
"	仁 尾 町 漁 協	小 山 義 男
浅海養殖精励漁業	東 讃 漁 協	楠 田 照 行
"	鴨 庄 漁 協	小 田 喜 代 士
"	高松市瀬戸内漁協	中 西 廣
"	男 木 島 漁 協	小 川 明 司
"	丸 亀 市 漁 協	島 敏 雄
"	丸 亀 市 漁 協	祖 一 信 明
職員永年勤続	引 田 漁 協	山 本 智 明
"	引 田 漁 協	八 田 美 智 子
"	庵 治 漁 協	岩 国 昌 二
"	香 川 県 漁 連	山 崎 芳 樹
"	香 川 県 信 漁 連	向 山 武

4) のり研通常総会

香川県海苔養殖研究会の通常総会は、6月19日に開催され提出された議案は全て承認可決された。

サワラの資源回復に対する取組み状況について

今年のさわら流しさし網の状況は？

平成14年から始まった「サワラ瀬戸内海系群資源回復計画」も5年目、早くも最終年を迎えましたが、今年のさわら流しさし網の漁獲量はどののでしょうか？現在、一番早く分かる情報が、高松市の香川県魚市場(株)に水揚げされるサワラの本数ですが、6月24日までの集計で、2kg以上の「さわら」は前年比55%、2kg未満の「さごし」は同比142%となっています。このように尾数では「さわら」は減少、「さごし」は増加しているものの重量で大部分を占める「さわら」が減少しているため、サワラ全体の漁獲量は前年を下回っていると思われる。また、「さごし」が増加していることから、平成17年生まれは16年生まれより多いと考えられますが、平成14年生まれに比べると少ないと思われる、今後の資源状態については楽観できません。

種苗生産を開始！！

このような状況の中、サワラを放流するため、今年も採卵作業が始まったのですが、「水温が低い」「親魚の数が少ない」ということで、例年より厳しい年となりました。作業は「香川県さわら流しさし網協議会」の協力を得て、5月16日から開始し、最終的に5月29日までの間に6回実施しました。協議会の皆様、御協力ありがとうございます。(特に1人乗りの方で、何度も連絡をいただいた方には感謝致します)

このようにして、何とか最低限の目標確保数量である、受精卵80万粒を確保しました。

種苗を配付！！

種苗生産は、今まで同様、独立行政法人水産総合研究センター屋島栽培漁業センターで実施されました。採卵が遅くなった為に、サワラ仔魚の餌(他の魚の仔魚)の確保に苦労されたようです。最終的に8万8千尾の種苗(約3cm)が生産され、それらの種苗のうち、4万2千尾がさぬき市小田の大規模中間育成場に、7千尾が女木島に配付され、引き続き中間育成が開始されました。(残りは岡山県日生、兵庫県坊勢、五色に配付されました)

中間育成、そして放流祭！！

小田での中間育成については、大きなへい死も無く順調に成育し、6月25日～26日にかけて、大

きさ7.4cm、3万5千尾(歩留まり84%)の稚魚が放流されました。



サワラ稚魚の放流

特に25日には、県主催による「讃岐の春魚 サワラ 放流祭」を同育成場内で開催。これまでは関係者だけの放流式だったのですが、今年から県民の方にも、さわらを知ってもらおうと一般参加型のイベントにしました。当日はあいにくの大雨でしたが、県、さぬき市、水産庁瀬戸内海漁業調整事務所、独立行政法人水産総合研究センター、香川県さわら流しさし網協議会、岡山県、地元の幼稚園児、一般の参加者など約150名が出席して、式典、放流の後、初のイベントとして「今日からあなたもサワラ博士」と題し、さわらについての体験型学習会を開催しました。ここでは、さわら流しさし網漁業者が先生となり、一般の参加者の方に、魚がかかる様子を、実際の網と魚を使って説明したり、さわら流しさし網の漁船を見学してもらったりしました。香川県で取れたサワラを県民に食べていただき、文化として伝えていくために、これからもこのような取り組みを継続して行きたいと考えています。

なお、女木島については7月5日に放流予定ですが、こちらもかなりの歩留まりを期待しています。

最後に

最初に話したとおり、今年で「サワラ瀬戸内海系群資源回復計画」に取組んで5年目、また、香川県のさわら流しさし網漁業者が資源管理に取組んでから、10年目を迎えます。この間、網目の拡大、休漁期間の設定、種苗生産・中間育成放流に取組み、サワラの漁獲量は平成10年の18トンを底に、平成16年までは徐々に増加してきましたが、平成17年、18年と漁獲量は再び減少しています。原因は平成15年、16年の天然魚の発生が少なかったためですが、今年の発生量も親魚となる「さわら」が少ないことから、同じように少ない事が心配されます。

このような年には、放流事業は非常に効果があることが分かっていますので、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

追記 今年の取組みはブログに掲載されています。インターネットが利用できる方はそちらの方もご覧下さい。

アドレス <https://dareweb.e-topia-kagawa.jp/Dareweb/ekw/web/tgu9wf9/t1.asp>
または「さかな情報」と「電子掲示板」で検索をかけて下さい。

香川県農政水産部水産課 漁業・資源管理グループ 高砂敬

岡田女性連会長、服部信漁連会長より主催者挨拶、泉県出納長、野口農林中央金庫高松支店長より来賓挨拶の後、表彰式が行われた。

女性連会長表彰...本島漁協女性部
信漁連会長表彰...丸亀市漁協女性部

活動実績発表では、四海漁協女性部 一田初美氏が「女性部活動の充実に向けて～伝統の味を活かしたゲタのあめ煮・天日干し～」と題して、発表を行った。

次に大会決議を行い、各漁協女性部において次の決議事項を実践していくこととした。

(決議事項)

- 1. 暮らしの見直しと健康管理活動の推進
- 2. 天然石けん使用推進運動の強化
- 3. 魚食普及活動の推進
- 4. 漁協事業への積極的参加

特別講演では、財団法人喝破道場 理事長 野田大燈氏を迎え、「現代を生きる～女性の社会進出～」と題して講演を行い、最後に竹沢県漁連専務による万歳三唱にて大会は盛会裡に終了した。



岡田女性連会長の挨拶

煮干共販スタート

6月16日に伊吹・観音寺・仁尾地区の平成18年度煮干共販がスタートした。

漁期当初より魚が薄く、品質についても危惧されていたが、初入札に当たって出荷量、品質ともまずまずであったことから、しっかりした相場で取引が行われた。

6月24日からはチリメン魚も解禁となり、全国的な品不足から高値で推移していることもあり、今後が期待される。

今年から電子入札を取入れ、開票、出荷作業等が改善され商社からの高評をいただいた。



煮干の見付風景

第49回香川県漁協女性部大会開催

去る6月13日(火)午前9時30分から漁連会館6階大会議室において、県下漁協女性部から約170名の部員他が参加して、第49回県漁協女性部大会が開催された。

まず最初に、漁協女性部綱領唱和を全員で行い、

主な行事予定(7/1~7/31)

- 7月4日(火) H19年度新規採用職員採用試験
- 12日(水) 新運動方針案説明及び漁協経営強化研修会
- 26日(水) 第37回放魚祭